

2022.6 / Vol. 52 / Soccer Journal



フォルトゥナ通信

FORTUNA AKTUELL - Japanese Version



Festverpflichtung

完全移籍





青を灯せ。



www.toyo.de



**TOYO
TIRES**

フォルトゥナファンの皆様へ

Liebe Freunde von Fortuna Düsseldorf



フォルトゥナ・デュッセルドルフ スポーツダイレクター
クリスティアン・ヴェーバー

Fortuna Düsseldorf
Sportdirektor
Christian Weber

私はフォルトゥナとこれまで13年間、選手やスカウトとして関わってきましたが、今回こうしてスポーツディレクターという立場で皆さんにご挨拶できることを大変嬉しく思います。長年フォルトゥナで過ごしてきた間に、私自身もちろん、この街に住む日本人の方々とフォルトゥナの特別な繋がりをたくさん体験してきました。私は現役の頃に、大前元紀や金城ジャスティンといった選手と一緒にプレーしましたし、ブンデスリーガ昇格を果たした2018年には、原口元気と宇佐美貴史という素晴らしい選手2人が大活躍してくれました。当時、スカウティングチームとして、この2人がフォルトゥナを去ったことは悲しかったですが、現在それぞれのクラブで成功していることを嬉しく思っています。そして今、我々は日本代表の田中碧を完全移籍で獲得することができました。碧が我々と長期契約を結んでくれたことを非常に嬉しく思います。また、U23チームで成長を遂げている内野貴史も、新シーズンからはトップチームの一員となります。

全体として、経験豊富な選手と若い才能が上手く混ざった良いチームになっているので、我々は新シーズンをとても楽しみにしています。私はたくさんの方々にアリーナへ足を運んでいただけること、そして皆さんと共にフォルトゥナが多くの試合に勝利できることを願っています。

Impressum

>>フォルトゥナ通信<<
Finger Broich 87
40235 Düsseldorf

Herausgeber 発行元:
Fortuna Düsseldorf 1895 e.V.

Leitung 情報管理:
Kai Niemann (medien@f95.de)

Redaktion 編集:
Taiki Hirooka 廣岡太貴
(japandesk@f95.de)

Fotos 写真:
Christof Wolff
Thorsten Schmidt
Frederic Scheidemann
IMAGO/Uwe Kraft
IMAGO/Laci Perenyi
公益財団法人日本サッカー協会 ©JFA
©JFA/PR
徳原隆元
F95

Layout レイアウト:
Christian Lewandowski



試合結果



28節
2:2
(0:2) A

20



29節
3:0
(1:0) H



30節
0:0
(0:0) A



31節
2:2
(2:0) H

- H ホーム
- A アウェー

21/22



32節
1:3
(0:2)
A



33節
2:1
(2:0)
H



34節
2:0
(0:0)
A

Unter Daniel Thioune: 12 Spiele ungeschlagen



ダニエル・ティウネ監督のもとで 12試合連続無敗を記録

2月8日、ダニエル・ティウネ監督がフォルトウナの新監督に就任し、新しいコーチ陣とともにブンデスリーガ2部の降格圏からの脱出という大きなチャレンジに挑むことに。就任当時のチームは、入れ替え戦圏内の16位、4試合連続無得点で4連敗という厳しい状況だった。それでもティウネ監督は就任後の記者会見で、「我々は再び2部リーグの上位に食い込みたいと思っています。でも、それは先の話です。まずはこれからの13試合でできる限り成功を収めることが重要です」と述べていた。

そして彼は見事にその“リーグ残留”という使命を果たす。フォルトウナはティウネ監督のもとでの初戦、ホームのメルキュア・シュピール・アリーナにて2021/22シーズンの2部リーグ王者となったFCシャルケ04に2-1で勝利すると、そこから勢いに乗り怒涛の追い上げを見せる。フォルトウナは力強いインテンシブなサッカーを披露し、リードを奪った試合をものにはできないことは何度かあったものの、最終節のFCザンクト・パウリー戦で黒星を喫するまで、ドイツ2部リーグで12

試合無敗を記録。これは、昨季のブンデスリーガ1部・2部の中でも最も長い無敗記録となった。ティウネ監督自身も、初戦からサイドラインで気持ちを前面に出す彼らしいスタイルでファンの心を掴んだ。最終的には勝ち点44ポイントを獲得し、就任当初から6つも順位を上げて降格圏とは大きなポイント差をつけ、リーグ10位という満足のいく結果でシーズンを終えることに成功した。

アウェーで行われた最終節のFCザンクト・パウリー戦の後、ティウネ監督は「我々は自分たちで掴み取った休暇を楽しみにしています。この3ヶ月、多くのエネルギーを注いできたので、バッテリーも少し減りました。私はこれから家族、そして仲間たちと多くの時間を共にし、そのバッテリーを早く充電したいと思います。それがまた、その後のターボに繋がります」とコメントしていた。6月12日、チームは新シーズンに向けて再び始動したが、昨シーズンの後期に我々が目にしたのは、間違いなく新シーズンへの期待が高まるものだったと言えるだろう。

| 順位 | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | → | ↑ | → | → | → | ↑ | → | → | → | → | ↑ | → | → |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 13 | 14 | 15 | 16 | 16 | 13 | 13 | 13 | 11 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 10 | 10 | 10 |
| | 第18節 | 第19節 | 第20節 | 第21節 | 第22節 | 第23節 | 第24節 | 第25節 | 第26節 | 第27節 | 第28節 | 第29節 | 第30節 | 第31節 | 第32節 | 第33節 | 第34節 |
| |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |



FREIHEIT
FÜR
ALLE

MDCCCXCV

Henkel

Henkel

Henkel

Henkel

Henkel

Henkel

Coca-Cola





SHINTA APPELKAMP

選手インタビュー

アペルキャンプ真大

15歳でフォルトウナのU16チームに入団して以来、このクラブで着実に成長を遂げ、今では21歳にしてトップチームの選手協議会のメンバーを務めるなど、フォルトウナに欠かせない存在となっているアペルキャンプ真大。今回、そんなU21ドイツ代表MFがインタビューに応じ、昨シーズンを振り返るだけでなく、新シーズンに向けた意気込みや個人的な目標、そしてファンへの想いを語ってくれた。

真大、まずは2021/22シーズンを振り返ってくれる？

昨シーズンはプロイサー監督が新しい指揮官になって、若い監督でスタートしましたが、残念ながらそれが上手くいかなくて、最初からなかなか結果が出ずに苦戦を強いられたシーズンでした。僕個人としては、最初の方にU21ドイツ代表に選ばれたので、それはポジティブなことでしたけど、2回目の代表ウィークの後にコロナに感染し、コロナから復帰した後の練習試合で怪我をしてしまい、厳しい時間を過ごしました。それでも、ウィンターブレイクを利用してコンディションを整え、年明けからほとんどスタメンで出場できたのはよかったです。ただ、チームとして結果が残せなかったのが残念でした。それで負けが続いた時に監督が交代となり、選手たちももう一度ゼロからのスタートとなったので、トレーニングの雰囲気も変わってクオリティも高くなりました。そこから無敗記録で降格圏内からも脱出できたので、監督交代が昨シーズンのターニングポイントだったと思います。

ダニエル・ティウネ監督が就任してから12試合無敗を記録していたけど、チームとして具体的に何が変わったのかな？

最初の頃は簡単に失点していたのですが、監督が代わってからはジョルディも来だし、ホフィも完全復帰したのでディフェンスラインが安定したのが鍵だったと思います。後ろが安定したことでオフENS陣も余裕を持ってプレーできるようにもなりましたからね。あとは監督自身が選手全員と話しますし、すごく細かいことまで言いますが、非常にエモーショナルな監督で、試合中もベンチで見せている熱い感情は僕たち選手にも伝わるので、そのエモーションがチームに良い影響を与えたと思います。

ティウネ監督が就任してからはほぼ全試合にスタメン出場していたけど、真大が監督から求められているプレーは？

ティウネ監督になってからはサイドでも中盤でもプレーしましたが、僕が言われているのは、相手のMFとDFラインの間のスペースで動いて、碧くんとかセンターバックからボールを受けて攻撃の起点になることです。

昨シーズン後期は、試合や練習でも碧と貴史と日本人3人でプレーすることが多くなったよね。

これは僕にとってもドイツでは初めての経験ですし、最後に日本人と一緒にプレーしたのは日本にいた時だったので、2人とプレーできるのはすごく楽しいです。ヨーロッパのチームで日本人3人がプレーするのはなかなかないスペシャルなことなので、本当に楽しんでやれています。サッカーだけでなく、日常生活でもドイツ語だけじゃなくて日本語も喋れるので日本語を忘れないですし、そういう意味でもすごく嬉しいです。

今年に入ってから徐々にコロナの規制が緩和して、多くのファンがスタジアムに戻ってきたことについて。

ファンが戻ってきたのは本当にポジティブなことです。ここ最近、僕たちに大きく欠けていた存在でした。ホームゲームでファンがいるといたいのでは本当に大きな違いがありますからね。ファンも監督が代わってから良い方向に進んでいると分かっていたからこそ、雰囲気も非常に良かったですし、ファンと共に最後の13試合を良い結果で終わったことで、来シーズンへの期待も高まっていると思います。また、サイン会ではたくさんのファンと話したり写真を撮ったりできたことも、すごく楽しかったです。

これから新シーズンがスタートするけど、2022/23シーズンへの意気込みと個人的な目標を教えてください。

1番大事なのは怪我なくプレーすること。そしてもっと得点やアシストという結果を残すことですね。昨シーズンよりもさらにチームの中心になりたいですし、碧くんと日本人コンビももっと出してあげたいと思っています。チームとしては昨シーズンのようなシーズンにはできませんし、僕たちはトップ5にいるべきチームだと思っているので、そこを目指して頑張りたいです。

今年はカタールW杯で日本代表とドイツ代表が初戦で対戦するよね。真大はU17・U18と日本代表に入っていたし、今はU21ドイツ代表として活躍しているけど、この対決は真大にとってどんな意味を持つのかな？

すごく特別な一戦です。僕は日本とドイツのハーフなので、すごくスペシャルな試合ですし、なかなかないデュエルですからね。しかも、W杯というサッカー選手にとって1番大きな舞台なので、僕にとってはすごく大きな意味を持つ試合です。碧くんも出場しますし、フォルトウナにとっても意味のある試合だと思うので、1番楽しみにしている試合です。

最後に日本人ファンの皆さんにメッセージを

まず、この前のサイン会に来てくれたファンの方々、ありがとうございました。フォルトウナには新シーズンも日本人3人がいますし、ヨーロッパでも日本人3人が所属しているチームはなかなかありません。僕たち3人が一緒にピッチに立つ可能性も低くないと思うので、皆さんには是非スタジアムに足を運んで欲しいです。応援よろしくお願いします！

Fortuna verpflichtet Ao Tanaka fest

フォルトウナが田中碧を 完全移籍で獲得

日本代表MFと2025年までの契約を締結

フォルトウナ・デュッセルドルフは4月27日、川崎フロンターレからレンタル移籍となっていた田中碧を完全移籍で獲得したことを公式発表。フォルトウナは買取オプションを行使し、日本代表MFと2025年6月30日までの3年契約を結んだ。

昨年の夏からフォルトウナでプレーしている田中碧（23歳）は、昨シーズンの第29節、ハンザ・ロストックとのホームゲームでデュッセルドルフでの初ゴールと初アシストをマーク。ダニエル・ティウネ監督就任後は全試合に出場し、12試合連続無敗記録にも大きく貢献した田中は、海外初シーズンとなった2021/22シーズン、フォルトウナで合計30試合（リーグ戦29試合、ドイツ杯1試合）に出場していた。

クラウス・アロフス役員（スポーツ&コミュニケーション）:

「田中碧は、この数ヶ月でチームの重要な選手に成長しました。だからこそ、我々はクラブとして彼と長期契約を結ぶことを決断しました。我々は碧がまだまだ成長する選手だと確信していますし、これから彼と共に多くの喜びを分かち合えることを楽しみにしています」

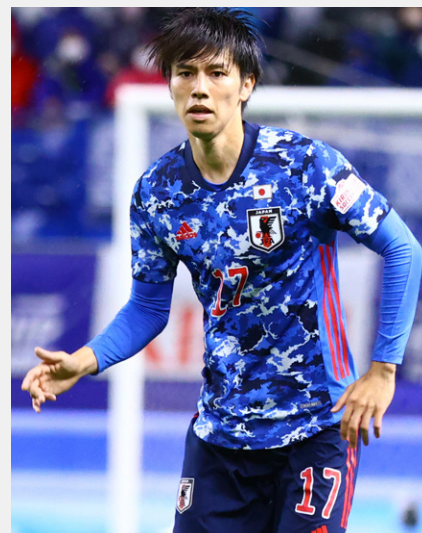
田中碧:

「フォルトウナは初日から自分を受け入れてくれましたし、このクラブは日本からヨーロッパへの大きなステップを可能な限り容易にしてくれました。デュッセルドルフはとても居心地が良いですし、これからより多くのゴールやアシストでチームの成功に貢献できればと思います」

4

A O

T A N A K A



SAMURAI BLUE

日本代表：W杯出場国と強化試合

6月の国際親善試合4連戦は2勝2敗という結果に

サッカー日本代表は6月、キリンチャレンジカップでパラグアイ代表とブラジル代表、キリンカップでガーナ代表、チュニジア代表との国際親善試合4連戦を戦い、結果は2勝2敗となった。フォルトウナのMF田中碧は、キリンチャレンジカップ1戦目のパラグアイ戦、3-1で迎えた後半17分から元フォルトウナの選手である原口元気へ代わってピッチに立つと、後半40分にはペナルティエリア際から右足を振り抜き、ダメ押しゴールをマークして4-1での勝利に貢献。そして迎えた2戦目、田中はFIFAランキング1位のブラジル代表との試合にスタメン出場し、ネイマールやヴィニシウス・ジュニオールを始めとする世界トップレベルの選手たちと対戦した。結果は0-1で敗戦。試合後、田中は悔しさを見せながらも、「ブラジル戦ではボールを保持する時間が多少はありましたし、このチームならW杯でやれそうな感覚もありました。戦うだけの力はあると思いますし、それくらい素晴ら

しい選手が揃っていると一緒にやっていると感じています」とコメントし、続けて「ただ世界トップを争う国にも素晴らしい選手はいるので、その中で個の差を埋めることは僕自身必要です。チームスポーツである以上、チームとしての最大値を上げられることがサッカーの面白さであり、勝てるようになる唯一の方法だと思います。この1試合で近づいた手応えはないですが、チーム全体として突き詰めていければ、やり合える可能性はどんどん上がっていくと思います」と述べていた。

そして、続くガーナ戦には、2-1で迎えた後半24分から途中交代でピッチに入ると、そこから日本代表は2点を追加して4-1での勝利に貢献。この勝利でキリンカップ決勝に進んだ日本代表は、チリ代表に勝利したチュニジア代表と対決することに。田中はこの試合もベンチスタートとなったものの、後半から出場。しかし、結果は0-3でチュニジアに軍配が上がり、残

念ながら日本代表は優勝を掴み取ることができなかった。

それでも、この国際親善試合4連戦がW杯に向けて非常に良いシュミレーションになったことは間違いなさだろう。これからW杯本大会までに海外組を含めて活動できるのは9月のみ。そして今年11月には、カタールにて4年に一度の祭典が開幕する。

キリンチャレンジ カップ 2022



日本代表 -
パラグアイ代表 4-1



日本代表 -
ブラジル代表 0-1

キリンカップ サッカー 2022



日本代表 -
ガーナ代表 4-1



日本代表 -
チュニジア代表 0-3

Takashi Uchino Heimspiel-Debüt

内野貴史が ホームデビュー

SVダルムシュタット98戦で85分から途中出場

今年3月12日、コロナによる多くの欠場者を出したことにより、トップチームで出場する機会が訪れ、第26節・SCパーダーボルンとのアウェー戦でブンデスリーガ2部デビューを飾った内野貴史。そのデビュー戦で堂々としたプレーを見せて90分フル出場を果たし、勝ち点1を獲得したチームに大きく貢献したことで、チームからの信頼を得ただけでなく、自身初となるU21日本代表にも初選出されていた。

それからというもの、トップチームの練習に帯同し、トレーニングでも説得力のあるプレーを見せ続けていた内野に再びチャンスが巡ってくる。第33節、シーズン終了まで後2試合を残し、リーグ2位を走って

いたSVダルムシュタット98戦で85分からピッチに入り、ホームでもデビューを飾ることに。この試合は終盤、2人の退場者を出すなど荒れた展開となったものの、最後まで1点を守り切ったフォルトウナが2-1で勝利を収めていた。

トップチームにて今季ホーム初出場を果たした内野は「最近2試合続けてベンチに入れて、いつか出番が来ると信じてずっと準備していたので、いきなりその出番が来てもそこまで緊張せずに良い感じで入れました」とコメント。試合終盤、2-1で相手もなんとか後1点を狙いにくる難しい状況でピッチに入ったことについては、「フォルトウナがチームとして今シーズン最後の最後でやられることが多くて、それで苦しんできていたので少しだけ嫌なイメージもありましたけど、そこはあまりいろんなことを考えず、積極的にみんなに声をかけたりチームにポジティブな要素となれるよう、自分にできることだけに集中しました」と内野。また、ホームで初出場したことについては「雰囲気のアウェー戦と全然違いました。前期はU23チームと共にスタンドから試合を見ていたので、すごい雰囲気だということはわかってましたけど、いざ実際にピッチに立ったらそれを上回る迫力でした。それを経験できて嬉しかったですし、こういうゲームを毎週コンスタントにできるような環境に自分の身を置きたいという欲も出てきています」と更なるステップアップへの意欲を口にしていた。



TAKASHI UCHINO

U21-Japan: Dritter Platz beim Asien Cup

U21日本代表 U23アジアカップで3位

AFC U23アジアカップ ウズベキスタン 2022

U23アジアカップに臨んだU21日本代表は、惜しくも優勝には届かなかったものの、3位で大会を終えたことにより、2年後のパリ五輪予選を兼ねた次回大会におけるポット1（第1シードグループ）入りの優位を得ることに成功。そして、この大会ではフォルトウナのDF内野貴史が存在感を見せつけた。全6試合のうち、サウジアラビア戦と韓国戦を除く4試合でスタメンに名を連ね、本来のポジションである右サイドバックだけでなく、右サイドハーフや左サイドバックとしても出場するなど、柔軟性も発揮。さらには、2アシストを含む4得点に絡む活躍を見せ、U21日本代表の3位入賞に大きく貢献した。

大会後、内野は「自分自身、今回のアジアカップはU21日本代表として選ばれたのが2回目だったので、チームが勝つことも大切ですが、自分が持っている力を発揮して、個人として生き残らなければいけないという気持ちを持って臨みました。その中で優勝という結果が残せなかったのは残念でしたが、大会を通して自分の攻撃面の持ち味だったり、守備面ではドイツで培っている強度っていうところを少しは見せられたと思います」と振り返り、4得点に絡む活躍だけでなく、非常に多くのチャンスを作り出していたことについては「ディフェンスの選手

なので1番大切なのは守備の部分だと思いますけど、今のサイドバックはそれにプラスして攻撃の面でいかに決定的なチャンスを作り出すかっていうのも求められている中で、今回いくつか得点に絡むプレーができたことは自分の中でも自信に繋がりましたし、これからもっとその質を高めていきたいと思います」とコメント。また、本来の右サイドバックだけでなく、いくつかのポジションで出場したことについては「右サイドハーフはあまり経験したことがなかったので、少し戸惑った部分はありましたけど、試合に入る前に監督が自分に何を求めているのかっていう部分をはっきりと理解した上でピッチに入ることで迷いなくプレーできましたし、左サイドバックに関しては今までに経験したことがあったので、自分のこれまでの経験プラス、監督が自分に求めていることをしっかりと意識してプレーしました」と柔軟性も発揮した。

今大会で「隠れたキーマン」や「令和のウッチー」として注目を集めた内野。これからフォルトウナでさらに成長を遂げ、間違いなくパリ五輪世代の中心選手になってくれるはずだ。



グループステージ



U21日本代表 -
UAE 2-1



U21日本代表 -
サウジアラビア 1-1



U21日本代表 -
タジキスタン 2-1

準々決勝



U21日本代表 -
韓国 3-0

準決勝



U21日本代表 -
ウズベキスタン 0-2

3位決定戦



U21日本代表 -
オーストラリア 3-0

Autogrammstunde mit Ao Tanaka und Shinta Appelkamp

田中碧とアペルキャンプ真大の サイン会を開催

MISSING
ICON



me and all Hotelの前には長蛇の列が

本来、2021年11月22日に開催を予定していた田中碧とアペルカンプ真大のサイン会は、残念ながらコロナパンデミックの影響により中止を余儀なくされていた。それでも、シーズン終盤となった2022年5月3日(火)、なんとかデュッセルドルフのインマーマン通りにあるme and all hotelにてサイン会を開催することができた。

当日は、サイン会スタートとなる17:00前からme and all hotelの前に長蛇の列ができ、その列はホテルの外を過ぎても止まることのないほどだった。当初17:00～18:30の1時間半を予定していたサイン会だったが、非常に多くのファンが来場したため、このイベントは2時間を超えることに。ファンの中には、フォルトウナのユニフォームはもちろん、日本代表やドイツ代表のユニフォームやサインカード、田中がプロへと成長を遂げた川崎フロンターレのユニフォームにサインをお願いするファン

の姿も。また、今回のサイン会にはあまりにも大勢のファンが駆けつけたため、イベントスタートからおおよそ15分後には満員御礼により、スタッフが列の最後尾でストップをかけることとなっていた。それでも田中とアペルカンプは終始笑顔を決やさず、ファンの方々1人1人との会話を楽しみながら、サインや写真撮影の希望に応じた。

フォルトウナは今回、コロナパンデミックによる制限があった2年以上の期間を経て、再びこうしてファンの方々と交流できるイベントを開催できたことを非常に嬉しく思うと共に、欧州でロンドン、パリに次ぐ3番目に大きい日本人コミュニティがあるデュッセルドルフで、この街に住む日本人の方々にフォルトウナをもっともっと身近に感じてもらい、自分たちのクラブなんだと知ってもらえるようなイベントをこれからも開催していきたいと考えている。

Fortuna zu Gast beim Japan-Tag

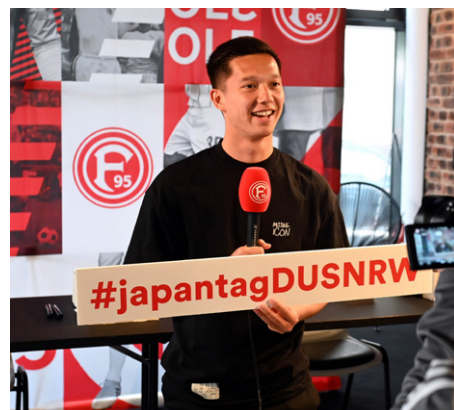
フォルトウナが日本デーに



欧州最大の日本のお祭りには約60万人が来場

コロナパンデミックの影響で2年以上ぶりの開催となった”Düsseldorf / NRW 日本デー”。5月21日(土)にノルドライン・ヴェストファーレン州の州都デュッセルドルフで開催された欧州最大の日本のお祭りには約60万人が来場した。フォルトウナも例年通り、この日独の友好関係の象徴でもある日本デーに参加し、今年はライン川沿いではなく、市庁舎の前に新しいファントラックと共にブースを出店。今回、フォルトウナブースにはミニゴールを設置し、子どもたちがシュートを決めて、デュッセルドルフを代表するサッカークラブの景品(ファングッズ)や情報などをゲットできる機会を提供したが、用意していた景品が全てなくなるほどの大盛況となった。また、お昼時には、デュッセルドルフのDr.シュテファン・ケラー市長や在デュッセルドルフ日本総領事館の岩間公典総領事もフォルトウナブースを訪問してくれた。

今年の日本デーには合計50以上の情報・体験テントが設置され、多くの来場者に日本の伝統文化や現代のポップカルチャー、代表的なスポーツなどを紹介。毎年、多くのコスプレイヤーが集まるのも日本デーの見どころとなっている。また、会場内には20以上の屋台が並び、様々な日本食が提供された。キンビールを片手に、焼きそばやたこ焼きを食べながら和太鼓ショーを楽しむ。ドイツでこれほど日本を感じられるのはデュッセルドルフならではの魅力だろう。そして、日本デーのハイライトは日本伝統の花火で、今年は「共に平和と友好のために」をテーマにした花火大会が開催され、大成功を収めた日本デーを締めくくった。



Fortuna Fußballschule x Japanische Internationale Schule

フォルトウナ・サッカースクール × デュッセルドルフ日本人学校

3年生と4年生に向けてサッカー教室を実施

5月11日(水)、フォルトウナ・サッカースクールがデュッセルドルフ日本人学校に訪れ、サッカー教室を開催した。今回、初の試みとなったこのサッカー教室は「地域に根付いているスポーツクラブとの関わりを通じて、住んでいる地域についての理解を深め、関心を広げる」「ドイツの国技であるサッカーに触れることで、スポーツを通じた豊かな生き方について考える」という2つをテーマに、体育の授業の一環として2時間目に

4年生、3時間目に3年生に向けて約50分間のトレーニングを実施。子どもたちはフォルトウナ・サッカースクールの指導者のもと、ステップワークやドリブル、最後にはミニゲームを行い、ドイツ語と日本語を交えながら、元気いっぱいサッカーを楽しみ一緒に汗を流した。

2008年から毎年、2年生に向けてアリーナ見学を実施しているが、今回さらにデュッセルドルフ

日本人学校の子どもたちがフォルトウナと触れ合う機会を提供できたことを嬉しく思うと共に、今後もこのサッカー教室を継続していきたいことを願っている。



「企業」の経済活動を総合的に学ぶ 中央大学 商学部



中央大学商学部
公式Webサイト



商学とは製品やサービスを生み出す過程とそれらの流通・交換を営む市場の経済の動きを解明する学問です。市場を牽引するのは主に企業ですから、商学では企業の活動を中心に学びます。商学部では4つの学科を通じてビジネスに関わる流通市場の営み、企業活動と管理の仕組み、ビジネスの国際展開、会計情報の作成・活用などを深めていきます。

経営学科

会計学科

国際マーケティング学科

金融学科

TOPICS 中央大学商学部 直近のトピックをご紹介します

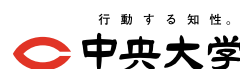
国際マーケティング学科へ名称変更

「商業・貿易学科」は2022年4月から『国際マーケティング学科』に名称変更しました。国際マーケティング学科では、企業の国際活動について、マーケティングや国際貿易に関する専門科目やビジネス実務の講義を通じて、国際社会で必要とされる知識と課題解決能力を身につけます。

金融学科 新カリキュラム スタート!

2020年度より「金融学科」の新カリキュラムがスタートしました。これまでの、企業の金融・財務活動についての体系的な学びに加えて、新カリキュラムでは『キャッシュレス決済』や『中小企業の金融』など、今必要とされる最新動向についても学ぶことが可能です。

中央大学商学部とフォルトウナ・デュッセルドルフは日本初のカレッジ・パートナーシップを締結しました。



お問い合わせ先：中央大学 商学部事務室
<https://www.chuo-u.ac.jp/inquiry/form/?id=7>



SHOP.F95.DE

